

【基本方針】

住み慣れた町で、その人らしく、慈愛に満ちた生活を支援する

【年間目標】

- ①良質なサービスの提供
- ②ご家族との連携
- ③地域との連携
- ④自立支援に向けた取り組み
- ⑤目標稼働率90%を目指す
- ⑥経費削減を図る

【実践報告】

- ① 良質なサービスの提供
 - ・ 接遇に関して、職場に慣れてくると職員の言葉遣いが雑になることがあり、ご入居者やご家族に不快な印象を与えることがあった。その都度管理者より指導をするとともに、接遇の勉強会を定期的で開催し、相手に与える印象を考えていくよう指導を行った。
 - ・ 認知症状態に応じた専門的ケアの実施に関して、簡易テストの実施は出来なかったが、アセスメントにセンター方式の一部を導入することで、専門的な支援を提供する事が出来た。
 - ・ 安全管理の徹底に関して、昨年度はヒヤリハットの活用が上手く出来ず、骨折等の事故が起こっていたが、今年度はヒヤリハット報告書を多く提出できるよう環境を整え、事故の発生の予防に努めた。
 - ・ チームケアの実施に関しては、昨年度同様、毎週のユニットミーティングや毎月のホーム会議を通じて、職員間の情報共有に努めた。
 - ・ 余暇活動の充実に関しては、季節に合わせた行事を提供すると共に、日々の生活支援の中に近隣の公園への散歩や買い物などを取り入れた。
 - ・ 職員のスキルアップに関しては、毎月のホーム会議時に勉強会を開催すると共に、認知症ケア実践者研修などの外部研修に職員を参加するよう促した。
 - ・ 定期的なサービスの評価に関しては、7月に第三者評価を受け、ご家族へのアンケートも実施した。

